

みんなで考え・語り・創る ふくしのまちづくり

～地域でつながり支えあうまち ふくちやま～



社協が策定する地域福祉活動計画

社会福祉協議会（社協）は、社会福祉法第109条において、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として明確に位置づけられています。社協は、誰もが住みなれた地域で、いつまでも安心して暮らせる「ふくしのまち」をつくることを理念としています。

地域福祉を推進していくためには、地域住民をはじめ地域で活動する様々な団体や関係機関などの主体がきめ細やかな連携を図りながら、地域の実情や生活・福祉課題などを共有したうえで、解決に向けてそれぞれの役割を果たして、協働していくことが必要です。

この第4次福知山市地域福祉活動計画（以下「第4次活動計画」といいます。）は、各主体が役割分担と協働で具体的な活動に結びつけていくための指針として、社協が策定するものです。



計画の推進期間

第4次活動計画の推進期間は、2023（令和5）年度から2027（令和9）年度までの5年間とします。計画期間を通して、計画の進行管理を行うとともに、社会状況等の変化に対応できるよう、新たな課題に適切に対応しながら、随時第4次活動計画の点検、必要に応じて見直しを行います。

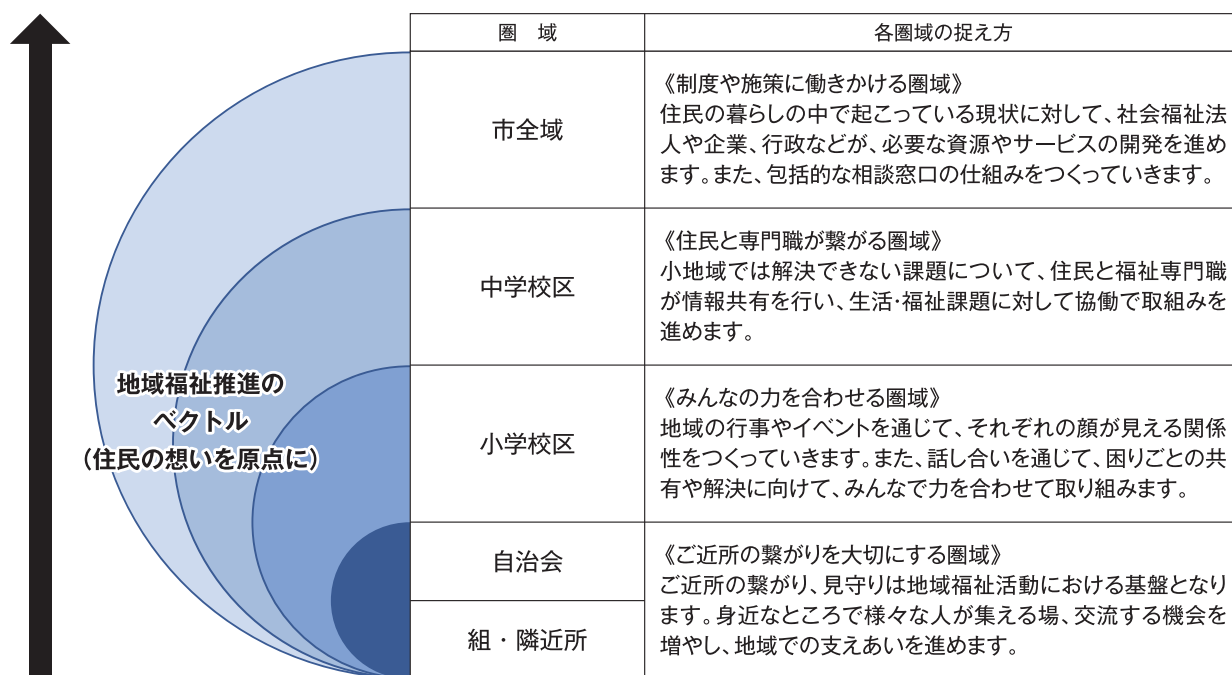
計画最終年度には、この計画で実現できた成果と、取組みの中で明らかになった課題について全体的な総括を行い、その結果を次期計画に活かしていきます。



地域福祉推進における圏域の考え方

第4次活動計画での地域福祉推進のための圏域の考え方は、福知山市が策定する「第4次地域福祉計画」で設定されたものと同等に捉えます。圏域を意識した関係性づくり・つながりづくりに、地域住民や関係機関・団体と協働して取り組むこととします。

【地域福祉推進における圏域の捉え方のイメージ】



地域福祉目標に込めた想い



地域福祉目標

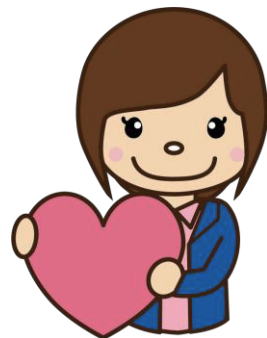
みんなで考え・語り・創る ふくしのまちづくり
～地域でつながり支えあうまち ふくちやま～



第4次活動計画では、様々な話し合いの場づくりを通じて、住民の皆さんだけでなく、福祉に携わる専門職、行政、社協も一緒になりながら、「対話」を積み重ね、策定を進めました。

“まちづくり”は、ひとりで進められるものではなく、また進めていいものでもありません。多様な主体があふれるこの福知山で、「話し合いから未来を創る」ことを目指して、地域福祉目標として「みんなで考え・語り・創るふくしのまちづくり～地域でつながり支えあうまちふくちやま～」を掲げます。

この地域福祉目標を実現するために、全ての活動・事業展開において大切にしたい「3つの視点」、具体的な目標である「8つの地域福祉活動目標」、地域福祉活動目標の取組みを応援するための「3つの社協目標」を定めます。



地域福祉活動推進のために大切にしたいポイント



第4次活動計画の策定にあたっては、第1次～第3次活動計画での取組みを振り返りつつ、多くの住民の皆さん（小地域福祉活動者）とともに、話し合い（協議）の場をつくり、“対話”を中心に、力を合わせて（協働）策定を進める過程を大切にしてきました。

“対話”を通じた策定過程において、地域福祉活動の推進のために大切にしたいポイントが浮かび上がりました。

①地域福祉活動が生み出す「つながり」の力

普段の暮らしの中のちょっとした声のかけ合い、気にかけている、暮らしの支えになっています。人は誰かと出会う、誰かと話して、元気をもらう。「人」が元気で暮らすためには、「制度」や「お金」だけではなく、「人とのつながり」が大切です。

②地域福祉活動は“楽しい”

地域福祉活動を実践されている皆さんに共通していたのは、「楽しむ」こと。「自分たちが楽しいから、活動は続けていける」、これが地域福祉活動の原動力であり、継続できる秘訣のように思えます。

③みんなちがって、みんないい！地域福祉活動は多様だ！

同じ福知山でも地域ごとに全く実情が違います。地域は、とても多様です。この活動が、この仕組みがあれば、どここの地域も一生安心して暮らせる！なんていう魔法のような活動は、きっとありません。だから、たくさん話し合い、対話を繰り返すことが大事です。



地域福祉目標

みんなで考え・語り・創る ふくしのまちづくり

～地域でつながり 支えあうまち ふくちやま～



地域福祉活動目標①

一人ひとりが知り合い、
認め合う福祉学習をすすめよう

“共生”の第一歩は、出会い、知り合い、
ふれあい、認め合うことから始めましょう。

地域福祉活動目標②

地域で誰もが居心地のよい
多様な居場所をつくろう

誰かと時間を共有したり、
想いを分かち合える場づくりを進めましょう。



地域福祉活動目標③

みんなで地域のことを
語り合える場をつくろう

“地域づくり”は一朝一夕には進まない。まずは地域の
ことを話し合える場づくりを進めましょう。

地域福祉活動目標④

たくさんの方が力を
合わせる機会をつくろう

協働作業は、繋がりを深める第一歩。
力合わせの場づくりを進めましょう。



計画推進のための大切にしたい3つの視点

- ①住民同士で支えあい、思いやりあふれる“人”づくり
- ②みんなで力を合わせて、支えあう“つながり”づくり
- ③自分らしい暮らしが続けられる“仕組み”づくり

地域福祉目標の実現のため、第4次活動計画のすべての活動・事業
展開において、大切にしたい3つの視点を持って取り組みます。

地域福祉活動目標⑤

みんなに出番があり、
活躍できる機会をつくろう

誰もが持つ「誰かの役に立ちたい」
という想いを形にしましょう。



地域福祉活動目標⑥

新たな興味や関心で、
新しい出会いの場をつくろう

共通の関心ごとで繋がる
「社会縁・関係縁」を育みましょう。



地域福祉活動目標⑦

誰もが安心して暮らせる
地域づくりをみんなで考えよう

住民と福祉専門職の協働で
“地域づくり”を進めましょう。



地域福祉活動目標⑧

身近な相談を受け止め合える
関係性を広げよう

身近な関係性の中から、悩みや相談は出てきます。
できる限り、困りごとを共有できる体制をつくりましょう。



地域福祉活動目標を住民の皆さんとともに推進していくために、社協活動の充実も必要不可欠です。社協目標を掲げて、地域福祉活動目標の取り組みを応援します。

社協目標①

住民に寄り添い信頼される
社協を目指します

小地域福祉活動の支援、権利擁護、介護保険事業など、
多種多様な福祉事業の質の向上に努めます。



社協目標②

福祉に関する情報
を広く伝えます

様々な情報発信の媒体を活用して、広く福祉情報をお
届けします。



社協目標③

協議と協働を中心に据えた
活動を進めます

常に住民や専門職、行政など、多様な主体との協議と協
働を欠かさず、事業に取り組みます。





計画推進のための大切にしたい3つの視点



地域福祉目標の実現のため、第4次活動計画のすべての活動・事業展開において、大切にしたい3つの視点を持って取り組みます。

①住民同士で支えあい、思いやりあふれる“人”づくり

すべての人が、お互いの人権や尊厳を大切に、自分らしく暮らしていけるよう、誰もが役割を持ってたくさんのお互いへの思いやりを人づくりを進めます。

②みんなで力を合わせて、支えあう“つながり”づくり

住民やボランティア、企業、関係団体、行政など、幅広い関係者が福祉への理解を深め、誰もがお互いに支えあえるつながりづくりを進めます。

③自分らしい暮らしが続けられる“仕組み”づくり

誰もが住みながれた地域で、自分らしい暮らしが続けられるよう、困りごとの把握や福祉サービスの充実など、暮らしを支える様々な取り組みを進めます。



持続可能な開発目標（SDGs）への取り組み

2015年（平成27年）9月の国連サミットで、SDGsが採択されました。2030年を期限とする国際社会全体の開発目標として、持続可能な世界を実現するための17ゴール（目標）と169のターゲット（具体目標）で構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地域福祉活動の推進にあたって、①貧困をなくそう、②飢餓をゼロに、③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑧働きがいも経済成長も、⑩人や国の不平等をなくそう、⑪住み続けられるまちづくりを、⑫つくる責任、つかう責任、⑯平和と公正をすべての人に、⑰パートナーシップで目標を達成しよう、の11の目標を視点において取り組むこととします。



地域福祉活動目標をみんなで達成しよう！

地域福祉目標を実現するための具体的な目標です。住民や行政、関係機関、社協などのそれぞれの役割の下に協働して、地域福祉推進の取組みを進めます。第4次活動計画では、8つの地域福祉活動目標を設定し、それぞれの目標に応じた活動を推進していきます。

1 一人ひとりが知り合い、 認め合う福祉学習をすすめよう

みんなで“ともに生きる”ための第一歩は、いろいろな人たちと出会い、知り合い、ふれあい、認め合うことから始まります。福祉学習の機会を通じて、誰もが一緒に暮らしていける地域づくりを進めましょう。

2 地域で誰もが居心地のよい 多様な居場所をつくろう

地域では、子どもから高齢者、障害のある人や、様々な事情のある人たちがともに生活しています。すべての人が、お互いを大切にしながら、生き生きとした人生を送るためにも、様々な交流の場など、誰もが居心地のよい居場所づくりを進めましょう。

3 みんなで地域のことを 語り合える場をつくろう

“地域づくり”は一朝一夕には進みません。それぞれに異なる地域の実情もあります。だからこそ、まずは地域に関わるみんなで話し合うことが大切です。みんなが自分たちの地域のことについて、語り合える場をたくさんつくりましょう。

4 たくさんの人が 力を合わせる機会をつくろう

人は、一緒に何かの目的に向かって協働することで、心の距離が近づきます。協働作業は、繋がりを深める第一歩です。地域のお祭りなど、イベントを通じた力合わせの機会をたくさんつくりましょう。

5 みんなに出番があり、 活躍できる機会をつくろう

人は、誰もが「誰かの、何かの役に立ちたい」という想いを抱いています。そして、必ず何かの役に立てる力を持っています。多くの人々が、あらゆる場面で出番があり、活躍できる機会をたくさんつくりましょう。

6 新たな興味や関心で、 新しい出会いの場をつくろう

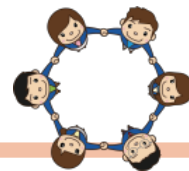
単身世帯の増加などの「人の変化」により、これまでの「地縁・血縁」の関係だけでは、人がつながりにくくなっています。共通の関心ごとを通じて繋がる「社会縁・関係縁」が育まれる出会いの場をつくりましょう。

7 誰もが安心して暮らせる 地域づくりをみんなで考えよう

たとえ、介護や支援が必要になっても、自分らしい暮らしを地域の中で続けていきたいものです。そのためには、福祉専門職の力も欠かせません。住民と専門職が日ごろから協力しあい、地域づくりに取り組みましょう。

8 身近な相談を受け止め合える 関係性を広げよう

悩みや相談事は、できるだけ自分たちの日常の中で解決したいと思うものです。しかし、専門の相談窓口の力が必要な場合もあります。身近な関係性から、困っている人の相談を受け止め、繋いでいける地域づくりを進めましょう。



社協目標の達成のために頑張ります！

地域福祉活動目標を住民とともに推進していくために、社協活動の充実も必要不可欠です。同時に社協活動の目標も掲げながら、地域福祉活動目標の取組みを応援します。

1 住民に寄り添い 信頼される社協を目指します

多くの人が、「社協のことはよく分からない」と感じておられます。社協では、多種多様な福祉事業を展開しています。住民から信頼される組織として、それぞれの事業に関する質を高め、情報発信に努めます。

2 福祉に関する情報を 広く伝えます

地域の中で、「福祉制度に関する情報」や「地域の福祉活動」についてご存じない方が多くおられます。社協では、様々な媒体を活用して、必要とされる方々に情報を伝える取組みを進めます。

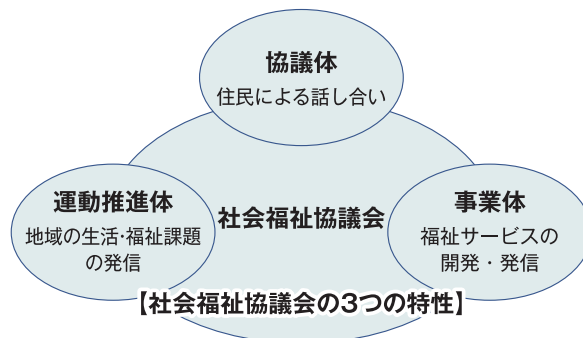
3 協議と協働を中心に据えた 活動を進めます

人は、誰かと一緒に何かをして、同じ時間を過ごすことで、繋がっていきます。これは、団体同士においても同じです。社協では、常に多様な団体との協議と協働を欠かさず、様々な事業に取り組みます。



社会福祉協議会の性格

社協は、地域住民を基盤とした地域福祉の推進を実現するために、「協議体」「運動推進体」「事業体」の3つの組織特性を持っています。これら3つの特性を組み合わせながら、住みなれた地域で住民一人ひとりが安心して暮らし続けられるよう、地域住民や当事者のニーズに寄り添った支援活動を進め、地域福祉を推進します。



①協議体 … 話し合いによって地域福祉を進める。

②運動推進体 … 生活・福祉課題とその解決を社会に働きかける。（ソーシャルアクション）

③事業体 … 生活・福祉課題に対応する取組みを先駆的に開発・実施する。



福知山市社会福祉協議会 第4次地域福祉活動計画

みんなで考え・語り・創る ふくしのまちづくり
～地域でつながり支えあうまち ふくちやま～

2023年（令和5年）3月発行

編集・発行：社会福祉法人福知山市社会福祉協議会

〒620-0035 福知山市宇内記10-18

TEL：0773-25-3211 FAX：0773-24-5282

Mail：fuku-shakyo@coral.broba.cc

